

平成28年度第1回（5月）大磯町議会 議会報告会

議 会 報 告 会 資 料

（開催日）

- 1回目 平成28年5月14日（土）国府支所 午前10時～11時30分  
2回目 平成28年5月14日（土）保健センター 午後3時～4時30分

---

資 料


---

議会議員の紹介 . . . . . 1～3  
議会基本条例について . . . . . 4～5  
議会報告事項 平成28年度予算のおもな審査内容 . . . . . 6～9  
添付資料 前回報告の結果について . . . . . 10～18


## 議会議員の紹介 (議員名簿)

町条例定数 14人  
 現議員数 14人  
 任期 平成27年7月16日～平成31年7月15日


### 議長

議席番号	氏名	役職・所属委員会	所属政党	当選回数
16	よしかわ しげお 吉川 重雄 	議長 総務建設常任委員会委員	無所属	4回

### 副議長

議席番号	氏名	役職・所属委員会	所属政党	当選回数
1	さかた ようこ 坂田 よう子 	副議長 福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会委員	無所属	5回

### 監査委員 (議会選任)

議席番号	氏名	役職・所属委員会	所属政党	当選回数
11	たかはし ひでとし 高橋 英俊 	監査委員 総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	4回

## 議会議員名簿

議席 番号	氏名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
2	たけうち えみこ 竹内 恵美子 	福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会委員 農業委員会委員	無所属	4回
3	せき たけくに 関 威 國 	福祉文教常任委員会委員 議会運営委員会副委員長	無所属	2回
5	みさわ たつお 三澤 龍 夫 	福祉文教常任委員会副委員長 議会運営委員会委員	無所属	6回
6	おくつ かつこ 奥津 勝 子 	総務建設常任委員会副委員長 議会運営委員会委員長	公明党	4回
7	にのみや かずこ 二宮 加寿子 	福祉文教常任委員会委員長 議会運営委員会委員 議会だより編集委員会委員 大磯町民生委員推薦会委員 (福祉文教常任委員会委員長として委嘱)	公明党	2回
8	せいた ふみお 清田 文 雄 	福祉文教常任委員会委員 議会だより編集委員会副委員長	無所属	1回

## 議会議員名簿

議席 番号	氏名	役職・所属委員会	所属政党	当選 回数
9	たまむし しほみ 玉虫 志保実 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員	無所属	1回
10	かたの てつお 片野 哲生 	総務建設常任委員会委員長 議会運営委員会委員 大磯町都市計画審議会委員 (総務建設常任委員会委員長として委嘱)	無所属	2回
12	すずき きょうこ 鈴木 京子 	総務建設常任委員会委員 議会運営委員会委員	日本 共産党	5回
13	わたなべ じゅんこ 渡辺 順子 	総務建設常任委員会委員 議会だより編集委員会委員長 農業委員会委員	無所属	4回
15	しばさき しげる 柴崎 茂 	福祉文教常任委員会委員	無所属	4回

## 大磯町議会基本条例の概要

条例の重要項目	条文の概要	
<b>①情報公開による透明性の確保</b> ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第11条 ・第14条	前文	議会は町民の代表機関、町政の立案・決定・監視、町民と協働のまちづくりの推進、議会活動の説明責任を果たす公正で透明、開かれた議会を構築する 本条例の議会運営のルールを遵守・実践し、町民から信頼され存在感のある豊かな議会を築くため不断努力
	第1条 (目的)	開かれた議会で議事機関としての役割を果たす、町民の福祉の向上と豊かなまちづくりの実現に寄与
	第2条 (議会の使命)	町政の監視、政策立案の決定・推進
	第3条 (議会の活動原則)	町民を代表する議事機関、透明性等を重んじた開かれた議会、町民参加と協働
<b>②町民参加と協働</b> ・前文 ・第3条 ・第5条 ・第10条	第4条 (議員の責務)	自由な討論の推進、町民要望等の的確な把握、能力を高め町民の代表としての活動
	第5条 (町民と議会の関係)	本会議等の公開、情報の公開・提供、一般会議、請願・陳情は政策提案、議会報告会
	第6条 (町長と議会及び議員の関係)	質疑応答は論点・争点を明確にする一問一答方式、町長等反問権
	第7条 (重要政策の審議等)	町長等は重要な政策提案前に政策決定過程から将来コストなど7項目の情報提供
<b>③議員間の自由討議と反問権</b> ・第4条 ・第6条 ・第9条	第8条 (議会の議決事件)	まちづくり基本計画、町出資する法人出資
	第9条 (議会における自由討議の拡大)	議会は言論の府であることを認識し、議員間の十分な討議による議会意思の決定等
	第10条 (議会の組織)	迅速・柔軟な委員会設置、参考人・公聴会制度の活用
	第11条 (政務活動費)	政務活動費を有効に活用、使途基準に従い適正に執行、使途の説明責任
	第12条 (議会事務局の体制整備等)	議会又は議員の政策形成支援、町長等は財政・情報提供措置
<b>④政策形成能力の向上</b> ・第2条 ・第5条 ・第7条 ・第8条 ・第9条 ・第13条	第13条 (議員の研修等)	議員の研修・政策研究を充実
	第14条 (議会広報の充実)	議会独自の視点から情報公開
	第15条 (議員の政治倫理)	町民の代表者として倫理性を自覚、町民の疑惑を招かない行動
	第16条 (この条例の性格等)	議会運営に関する最高規範、不断に見直し必要な措置
<b>附 則</b> 平成21年11月1日から施行		

大磯町議会基本条例の全文をはじめ、議会活動については町ホームページ「大磯町議会」をご確認ください。

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/gikai/index.html>

編集・発行：大磯町議会事務局 TEL 0463-61-4100(内線281・292) FAX 0463-61-1991

# 大磯町議会



## ～ 議会の役割 ～

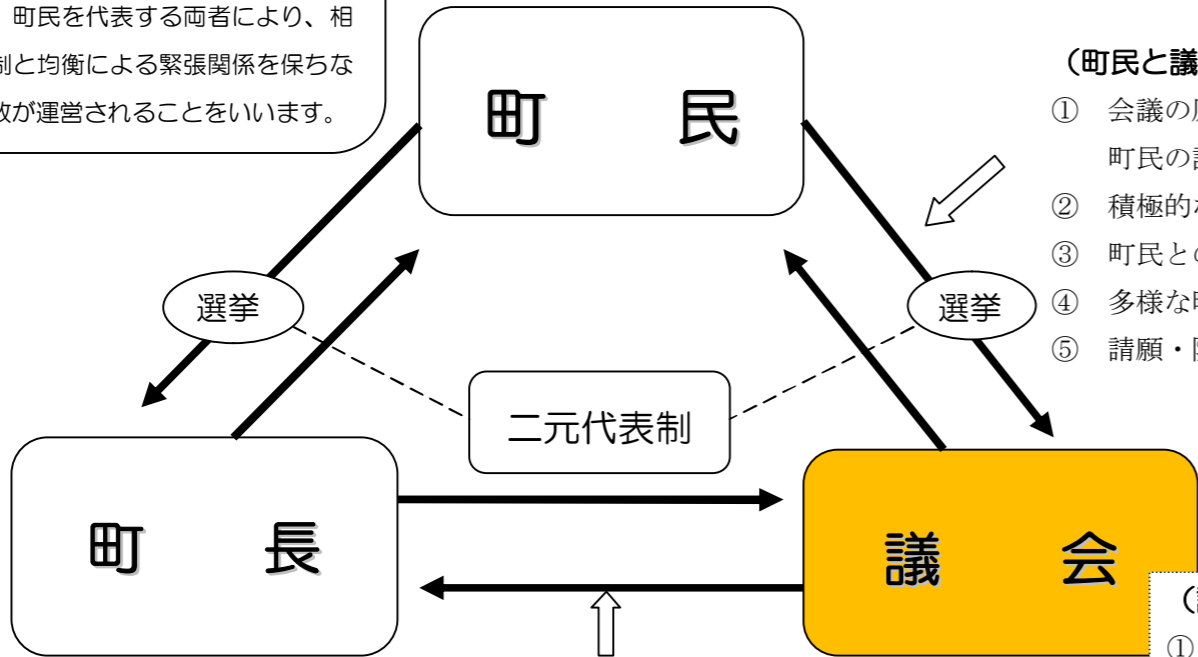
地方分権が進む中で、町の自己責任・自己決定の範囲が拡大し、二元代表制の一翼である議会が担う意思決定機関、行政の監視機関としての役割と責任は、これまで以上に重要となってきています。

このため、大磯町議会では、議会の役割と活動の指針を明らかにし、町民の参加と協働を推進するため、大磯町議会基本条例を平成21年11月1日に施行しました。

この条例は大磯町議会の最高規範であり、条例に定める議会運営のルールを遵守し、実践することによって、町民福祉の向上と持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的としています。

# 大磯町議会基本条例における町民との協働によるまちづくり

**二元代表制とは**  
現在の地方自治においては、議員と町長をともに町民が選挙で選ぶ制度がとられており、町民を代表する両者により、相互の抑制と均衡による緊張関係を保ちながら町政が運営されることをいいます。



## (町民と議会との関係)

- ① 会議の原則公開による町民の議会活動参加の推進
- ② 積極的な情報の公開・提供
- ③ 町民との意見交換のための一般会議の実施
- ④ 多様な町民意見を聴くための議会報告会の開催
- ⑤ 請願・陳情における町民意見を聴く機会の設定



**【議会報告会】**  
議会の活動等をご報告し、町民の皆様からご意見をいただく場として開催 (平成27年中に4回開催)

## (町長と議会との関係)

- ① 一般質問における論点・争点を明確にするための一問一答方式の実施
- ② 議員質問の論点、争点を確認するための反問権の付与
- ③ 議会で追加した議決する事項の提案
- ④ 重要な政策や議案の議会への説明義務

## (議会におけるルール)

- ① 議会で議決をする事項(※)の追加
  - ② 議員同士の討議の充実による議会意思の決定等
  - ③ 各種委員会の設置や参考人・公聴会制度の活用
  - ④ 議会事務局の体制整備等による政策形成支援
  - ⑤ 議会独自の視点による議会広報の充実
  - ⑥ 議員の研修及び政策研究の充実
  - ⑦ 町民の代表者としての議員の政治倫理
- ※条例の制定改廃・予算・決算の認定・契約・財産の取得等

## 【一般会議など意見交換の場】

町内で活動している団体等と意見交換 (これまでに6回開催)



**【定例会・臨時会】**  
議案の審議・採決など  
議場で行い、SCNでテレビ放映している。  
(平成27年中に20回開催)



## 【委員会・協議会】

議案、請願・陳情などの審査、町長からの重要事項の報告など

- 議会運営委員会
- 議員全員協議会
- 総務建設常任委員会・協議会
- 福祉文教常任委員会・協議会
- 議会だより編集委員会
- 予算(決算)特別委員会 など

(平成27年中に委員会を56回・協議会を31回・勉強会を1回開催)

## 大磯町議会の紹介

★現在の議員の人数は14人  
(男性：7人 女性：7人)  
任期は平成27年7月16日から4年間

★議会改革度調査(早稲田大学マニフェスト研究所が全国の都道府県・市町村議会を対象とした調査)で、2014年のランキングは  
全国で25位(町村では4位)

# 議会報告会

平成28年5月14日(土)

— プログラム —

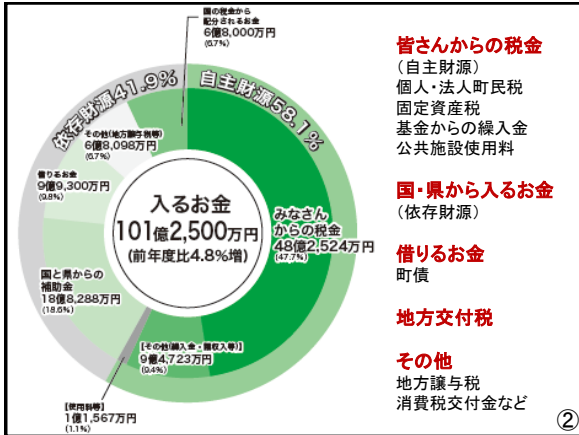
1. 主催者挨拶
2. 平成28年度予算審査の内容
3. 意見交換

## 平成28年度予算の概要

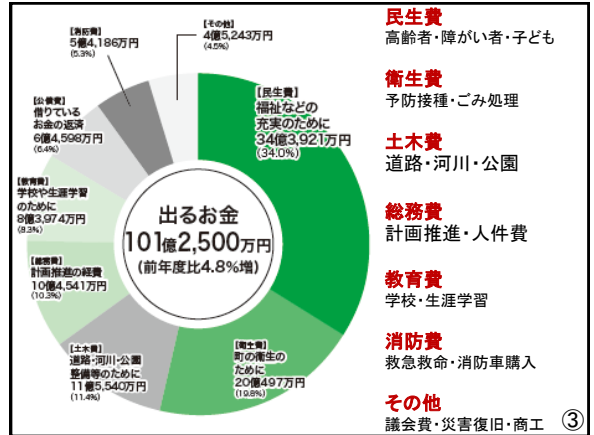
総額約202億4,100万円(3.4%)

- 一般会計 101億2,500万円(4.8%)
- 特別会計
  - 国民健康保険事業 45億3,200万円(0.4%)
  - 後期高齢者医療 8億5,200万円(10.4%)
  - 介護保険事業 29億6,900万円(1.9%)
  - 下水道事業 17億6,300万円(2.4%)

①

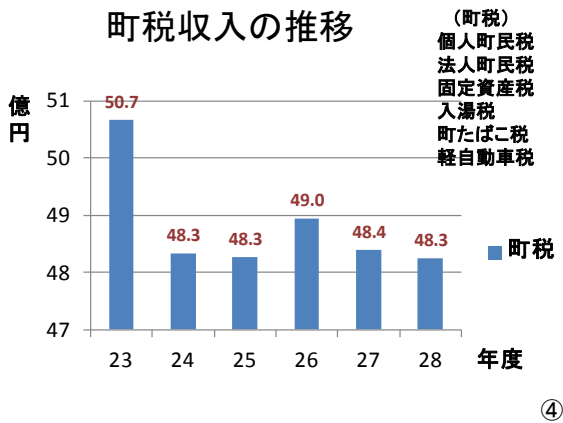


②



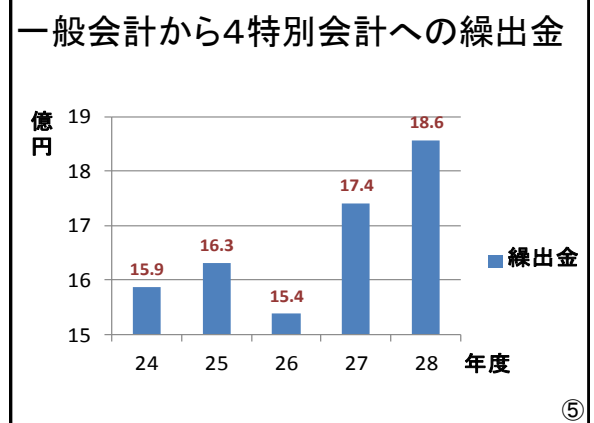
③

## 町税収入の推移



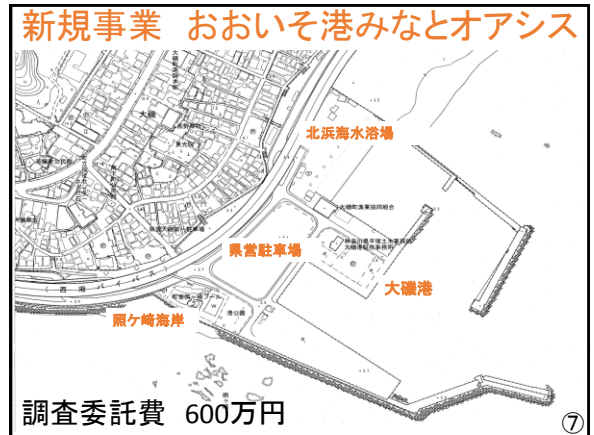
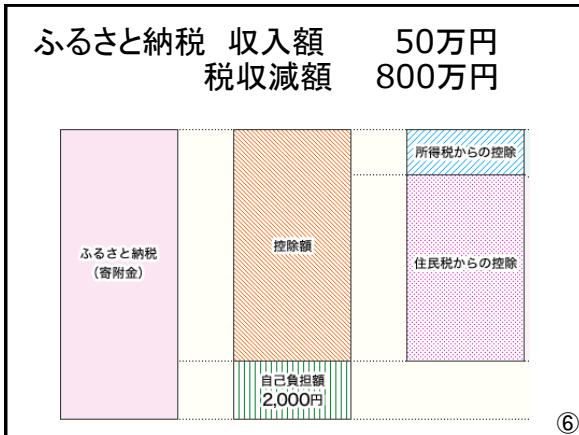
④

## 一般会計から4特別会計への繰出金



⑤





子育て・親育ち支援事業 741万6千円

5歳児検診 (28年度は試行)

対象 町立幼稚園と保育園の年中児  
 内容 子どもに関するアンケート調査  
 育児相談・療育経過観察

経費  
 ○検診後のフォロー教室 48万円  
 ○保健師分 52万円

⑩

朝の居場所づくり 197万7千円

- ・時間 7時15分から8時15分
- ・場所 大磯・国府学童施設
- ・利用方法 予約制

委託先  
 社会福祉協議会  
 恵伸会

⑪

中学校給食運営事業費 3,638万4千円  
調理配送委託料 3,578万円



3年間契約で1億2,446万円だが栄養士人件費と保護者負担が別会計のため経費総額が不明である。

高齢者のごみ出し支援と安否確認 168万円

ふれあい収集(1回あたり)

町負担 500円+消費税・事務費  
利用者 100円



対象 介護保険要支援・要介護  
障害者手帳 1・2級  
ごみ出しが困難な方

委託先:大磯町シルバー人材センター

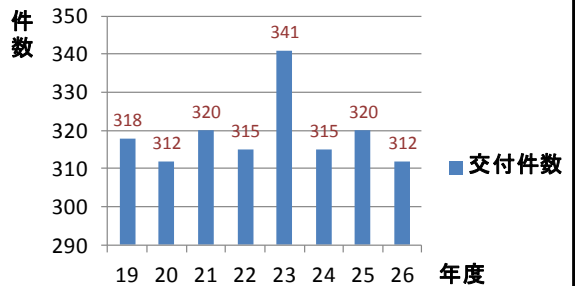
公共施設の再配置計画 230万円

公共施設等の総合的・計画的な管理方針を決める  
対象 82施設+ インフラ施設(道路、橋梁、公園等)

82公共施設の将来コスト試算 287億円



火葬料補助金上限額 9万5千円⇒5万円へ



平塚・大磯・二宮消防共同事業



消防指令センター共同整備事業 1億646万8千円

- ・消防救急無線のアナログ波が平成28年5月末で廃止されるため消防救急無線をデジタル化する
- ・各市町村が消防指令システムの更新時期が同じである。
- ・消防救急無線、消防指令センターの共同整備により、効率的な行財政運営が可能。

平成29年4月1日より運用開始。

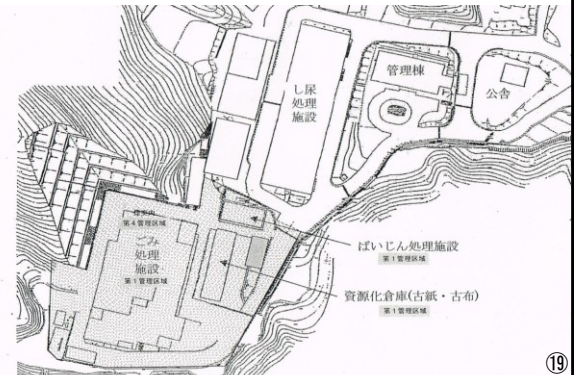
## (仮称)リサイクルセンター整備事業

### 3施設を建設

1. 大磯町・二宮町の容器包装プラスチック・ペットボトル圧縮梱包施設
2. 大磯町の可燃ごみ運搬中継施設
3. 大磯町の町民が持ち込んだ一般廃棄物の選別・保管・排出施設

⑱

## リサイクルセンター 建設場所



⑲

## 事業の形式はDBO方式

### 施設整備と20年間の運営管理の一体事業

#### ・総事業費 47億 340万円

施設整備費 17億6,040万円

運営委託費 29億4,300万円

#### ・28年度分事業費 11億3,308万6千円

財源 国から:3億1,101万2千円

県から:3,834万4千円

町一般財源:8,880万7千円

町の借金:4億9,300万円

二宮からの負担金:2億192万3千円

⑳

議会報告会会議録	
1 開会日	平成27年11月15日(日) 午前10時00分 開会 午前11時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 奥津勝子議員 (司会進行) 清田文雄議員 (平成26年度決算のおもな審査内容について) 渡辺順子議員 ( " ) 玉虫志保実議員 (公園緑地維持管理事業) 二宮加寿子議員 (子育て支援総合センター運営事務事業) 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 竹内恵美子議員 (記 録) 柴崎 茂議員 ( " ) 竹内恵美子議員 (会場受付) 関 威國議員 ( " ) 鈴木京子議員 (マイク設置等) 竹内恵美子議員 (写真撮影) 高橋英俊議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	19人
5 報告事項	(1) 平成26年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 10 回目を迎えた。今回は平成 26 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 26 年度決算のおもな審査内容報告

・・・清田文雄議員、渡辺順子議員、玉虫志保実議員、二宮加寿子議員

『議会だより大磯』第 180 号及び議会報告会資料に基づき、平成 26 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。公園緑地維持管理事業及び子育て支援総合センター運営事務事業（つどいの広場等）についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： 町長選挙と町議会議員選挙を同時に行うことはできないのか。

答： 同時選挙については、町だけで考えるのではなく、議会も考えていかなければならない。一部の議員から「同時にやろう」という声もあるが、まだ議会全体の考え方が纏まっていない。議会報告会でご意見があったことを受け止め、今後、議会運営委員会などで検討しながら議会としての結論を出していきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

はじめての試みとして、少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1（町民 5 名・議員 3 名（竹内恵美子議員・関威國議員・鈴木京子議員））

意： 大磯運動公園の街路灯が一基消えている。また、斜面の管理をもう少ししっかりしてほしい。

意： 国府新宿で雨水管整備工事が始まったが、説明が不十分で工事の全体像が

分からず困っている。また、工事が始まり騒音の苦情も出ている。

意： いくさわ西の池跡公園の草刈、水やりが大変。トイレ、夜間の心配もある。これから町と協議することになっている。

意： 東海大学医学部附属大磯病院の拡張計画はどうなっているのか。若い人が住みやすい町になるためには産科再開が必要ではないか。

意： 国府橋拡幅の進捗状況はどのようなか。職員任せでなく、理事者も地権者に掛け合ってほしい。避難路なので早い時期の完成を望む。

意： 月京バス停の歩道拡幅の進捗状況はどのようなか。

グループ2（町民5名・議員3名（三澤龍夫議員・奥津勝子議員・清田文雄議員））

意： 国府幼稚園の認定こども園への移行について、説明会は開かれたが情報が少なすぎる。

意： 預かり保育などいろいろなサービスがあるが、利用時間が限定され利用し辛く、本当に必要な時の利用ができない。

意： 町を活性化させる基本的な町づくりを示してほしい。住民も我慢するところは我慢するので、できること、できないことをはっきりしてほしい。

意： 「住みよい町、子育てしやすい町」というキャッチフレーズに対し、具体的にどのようなことが行われるのか。議会も町長の方針に対し、常にチェックを入れてほしい。

意： 大磯の自然豊かな環境を活かした教育を。メリットを活かし教育内容を充実させてほしい。

意： 人口減少問題に対し、若い人たちの移住が促進できるような環境づくりを望む。

意： 若い人が町政に積極的に参加できるような工夫が必要ではないか。

意： マリア道は名称変更すべき。例えば「運動公園通り」に改称したらどうか。

意： 大磯町にも二宮町のラディアンのようなホールがある施設がほしい。

意： 少人数に分かれての意見交換の時間がもう少しほしい。

グループ3（町民4名・議員3名（二宮加寿子議員・玉虫志保実議員・高橋英俊議員））

意： 観光で若い人たちを呼ぶのであれば、道路や産業、また、農産物を販売する「道の駅」など、町民ぐるみで参加できることを考えるべきと提案したが、町から回答がない。

意： 町の活性化政策には、若い人たちに来てもらえる環境づくりが大切だ。

意： 大磯運動公園利用の車は多い。道路整備が必要である。土地が取得できた部分からマリア道の整備をはじめたらどうか。

意： 月京幼稚園跡地に東海大学医学部附属大磯病院は病棟を建てないのか。

意： 災害時に道路は大事だ。道路が拡幅できていない箇所が見受けられるが、

交渉がきちんと進んでいるかとても心配だ。

グループ4（町民5名・議員3名（片野哲生議員・渡辺順子議員・柴崎茂議員））

意： 町長と議員の同時選挙は是非実現してほしい。経費削減と投票率アップのためと考えてほしい。必要であれば陳情を提出する。

意： 財政状況が厳しい中、所得制限もなく第2子に対する保育料無料化を行って大丈夫か不安だ。

意： 大磯町は観光に力を入れているということだが、案内版はわかり難く、ガイドブックも一致していない。その為か迷っている人たちがかなり見受けられる。もっと親切に案内できるようなことを考えるべきではないか。

意： 「大磯町町民憲章」のプレートが町内のところどころにあるが、ボロボロになり壊れているものもある。点検し、必要なものであればきちんと整備すべきだ。

意： 馬場公園には昼間も点いている水銀灯がある。木が茂り、センサーが機能していない。近隣の人声も聞き、公園の木の剪定をきちんと行ってほしい。

意： 自分達の利用するゴミの集積場所に他所から来て捨てていく人がいる。どうしたらよいか。

意： 大勢の前では言えないとも言える。この意見交換の場をこれからも続けてほしい。

#### (4) 閉 会

議会報告会会議録	
1 開会日	平成27年11月15日(日) 午後 4時00分 開会 午後 5時30分 閉会
2 場 所	保健センター 2階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 竹内恵美子議員 (司会進行) 関 威國議員 (平成26年度決算のおもな審査内容について) 片野哲生議員 (公園緑地維持管理事業) 柴崎 茂議員 (子育て支援総合センター運営事務事業) 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 奥津勝子議員 (記 録) 玉虫志保実議員 ( " ) 三澤龍夫議員 (会場受付) 奥津勝子議員 ( " ) 清田文雄議員 (マイク設置等) 二宮加寿子議員 (写真撮影) 渡辺順子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	18人
5 報告事項	(1) 平成26年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換



議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 10 回目を迎えた。今回は平成 26 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 26 年度決算のおもな審査内容報告

・・・関 威國議員、片野哲生議員、柴崎 茂議員

『議会だより大磯』第 180 号及び議会報告会資料に基づき、平成 26 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。公園緑地維持管理事業及び子育て支援総合センター運営事務事業（つどいの広場等）についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： パワーポイントの活用により議会報告会も非常にわかりやすくなったが、予算が実際にどのように使われるのか、議会として内容の確認が弱い感じがする。例えば、高麗公衆トイレについては規模が小さくまるで家庭のトイレのようだ。高来神社はイベントも多く、このトイレで賄えるのかと疑問に思う。なぜ作るのか、何のために作るのか、そういったこともハッキリさせるべきである。事業が終了してから良い悪いと言ったのでは間に合わない。町だけでは判断できないことも多い。もう一步踏み込んで、内容まで正してから予算を執行するようにするべきだ。

答： いただいた意見を受け止め、しっかりと監視していきたい。

問： 安全保障関連法案は国民的議論が続いていた問題である。憲法学者の 9 割が反対し、国会での審議も不十分であった。「安全保障関連法案の策定の中止を求める意見書の採択を求める陳情」については、大磯町議会でもしっかりと議論してほしかったが机上配布となっている。どのような過程で机上配布となったのか。

答： 提出された陳情は議会運営委員会において取り扱いを協議する。委員会は議員7名で構成されているが、1名欠席のため議員6名が陳情の取扱基準に基づき審査を行った。結果、委員会付託2名、机上配布3名となり、机上配布と決定した。

問： 町の火葬料補助金が年々下がっている。税金を納めている身としては、不満がある。今までどおり補助してほしい。

答： ご意見として受け止めさせていただく。

問： 学校図書購入費での図書購入は、教科書に載っている課題図書を揃えるだけで精一杯であり、大磯小学校での配架率は昭和からの古い図書を含め国基準の90%程度という話を聞く。図書室は子どもの教室の一部である。学校図書購入費を増やし、図書館司書の先生が子どもたちの状況を見て本の選定を行えるようにしてほしい。

答： 多くの議員が、図書館や図書の重要性、また、図書館司書の必要性を訴えてきており、町も今年度からかなり充実した司書の配置となった。実際の本がどのような選定が良いか、司書を中心に行っていけるよう議会からも投げかけていきたい。

問： リサイクルセンター建設にあたり、再生可能エネルギー利用についての話しは出ているか。また、施設建設の中間報告について町民が知ることはできるのか。

答： リサイクルセンターには太陽光パネルが設置される。また、子どもたちがエネルギーやごみ処理について学習できる学習施設を一緒につくる計画もある。大磯町議会は全ての会議を公開としている。議会への報告がある際には、会議を傍聴することができるので、是非お越しいただきたい。

### (3) 少人数に分かれての意見交換

はじめての試みとして、少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが4グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

### ◎主な意見

グループ1 (町民4名・議員3名 (竹内恵美子議員・関威國議員・鈴木京子議員))

意： 町内会の運営や会館の使用方で困っている。町内会の運営に関して、町で同じようなルールをつくることはできないのか。

意： 役場隣の葬儀場で困っている。隣地の駐車場を参列者が使用しトラブルに

なったり、匂いも気になる。また、棺が丸見えなので目隠しがほしい。駐車場が奥深いので事件が心配だ。

意： 町の火葬料補助金が下がったが、その分を葬儀社が町民サービスとして立て替えているような形になっている。なんとかならないものか。

意： 陳情審査にあたりきちんと議論を行ってほしい。また、賛成者、反対者を知りたい。

グループ2（町民2名・議員3名（三澤龍夫議員・奥津勝子議員・清田文雄議員））

意： 第2子に対する保育料無料化は、将来的に町の大きな負担となるのではないか。町の見通しが甘いと感じる。

意： 旧吉田茂邸の再建工事が行われているが、今後の維持管理費が気にかかる。果たして維持管理費が賄えるほど集客力があるか疑問だ。

意： 国府本郷、国府新宿は海岸侵食が激しく、年々海岸が狭くなっている。海岸侵食の要因は何か。

意： 消防署と比べ消防団は費用が掛からない。消防署員を減らし消防団を充実させたらどうか。

グループ3（町民2名・議員3名（二宮加寿子議員・玉虫志保実議員・高橋英俊議員））

意： 高麗公衆トイレのデザインを学生に任せるのはいいが、そのまま採用するのは如何なものか。町は人に聞くことをしない。一事が万事、ほとんど町が決めてきて入り込む余地がない。途中段階でよく話しをして決める。目先のことしか考えないで、関係者に話しを聞き優先順位をつけて決めていくなどするようにするべきだ。ハードはできたら何年もそのままになる。やり直しはきかない、議会が事前に状況を調べ審議できるようにすべきである。

意： 大磯小学校で野球をしていると、ボールが聖ステパノ学園に飛んでいってしまう場合がある。取りに行く子どもも心配だが、ボールによる事故が起きないかも心配だ。子どもがのびのびと運動できるよう、グラウンドのフェンスを高くしてほしい。

グループ4（町民3名・議員3名（片野哲生議員・渡辺順子議員・柴崎茂議員））

意： 大磯恒道会の状況が心配だ。空きベッドも多く、職員の退職も多いと聞く。町民生活に密着している問題なので、もっと議員に関心を持ってもらいたい。

意： 高麗公衆トイレの改修が入札不調により翌年度に繰り越しとなっているが、事業を執行する前段階での議会のチェックが必要なのではないか。

意： 議会報告会もパワーポイントの活用でわかりやすくなってきたが、数字を示すだけでなく、課題や問題点についても示すべきだ。

意： 下水道事業にかかわる町債が多い。接続率を向上させる必要があるのでは

ないか。

意： 議会報告会の回数を増やすべきではないか。町長ばかりが町民と対話を行っている。町長と町議会は両軸と言われている。もっと人が集まるように工夫してほしい。

意： 山王町の松並木敷の松は間引きが必要だが、町に言ってもやってもらえない。きちんと管理すべきだ。

#### (4) 閉 会